

播磨南中学校

豊かな心を持ち
自ら学び続ける意欲と
力を持つ生徒の育成

「自らの生き方を創り出す力の育成・共生の社会に
生きる心の涵養・社会の変化に対応できる力の育成」
教育を推進しています。

本校では、「明るく・正しく・たくましく」の校訓の
もとに、「知・徳・体」の調和のとれた生徒を育成する
教育を推進しています。

◎未来に向かって主体的に
生きていくことができる
力の育成

めざす生徒像

○聡い生徒
○心豊かな生徒
○たくましく健やかな生徒



田中 校長

努力目標

- ①心やすらぐ安心安全な学校の創造「人的・物的環境の整備」
 - ②基礎・基本の定着「知識・技能や学び方の定着と基本的な生活習慣の確立」
 - ③豊かな心を育む教育の充実「人間的なふれあいに基づく生徒指導体制の充実」
 - ④自己実現と共生への支援「夢を持ち自己実現を図れる学習活動の展開」
 - ⑤健康教育の充実「学校体育や保健の充実と安全教育の徹底」
 - ⑥特色ある学校づくりの推進「情報教育の実践と学校情報化への対応」
 - ⑦教職員の資質の向上「校内研修体制の確立と主体的研修の推進」
- 本年度も、目標達成のため、より充実した教育活動を展開していきます。
- <http://homepage3.nifty.com/harinan/>

播磨南小学校

活力に満ちた
魅力ある学校づくり

「心やすらぐ学校
創造力あふれる学校
開かれた学校づくりをめざして」

開校当時は、周りから校舎が一望できた学校も、今日に至るまでの多くの方々のお力添えによって、まさに「花と緑の学校」に変貌し、この豊かな環境の中で日々の学校教育を推進しています。

また、本校の特徴でもある
「南っ子活動」、古宮獅子保存会
の「尽力による「伝統継承活動」
など、多形を変えながらも現
在も脈々と活動を継続していま
す。

教育目標

◎自ら考え 判断し 実践する
南っ子の育成

○校訓「まごころをこめて」

めざす児童像

○すすんで勉強する子
○すすんで友だちと仲よくする子
○すすんで運動する子

努力目標

- ①基礎基本の定着を図る個に応じた学習の充実
 - ②豊かな人間性を育む学習活動
 - ③地域とともに歩む学校づくり
 - ④学ぶ意欲を高める環境整備
- 本年度も、地域・家庭のご協力・ご支援をいただきながら、様々な学習方法、学習形態を行うなかで、より充実した教育活動を推進していきます。



友政 校長

播磨中学校

学ぶ意欲を育てる
根幹づくり

一人一人を大切に授業づくり
自分たちで支える学級づくり
温かい人間関係づくり

校訓
明朗・自治・創造
重点課題
指導と評価の一体化

- ・生き方を考える道徳と学活の充実
 - ・不登校生徒への支援
 - ・学校教育活動の啓発
 - ・心ふれあう生徒指導の実践
- 学校を支える生徒会役員

生徒会会長	田坂 泰人
副会長	手島 誠
書記	藤木 しのぶ
広報部	山下 元気
美化部	竹内 美保子
学芸部	足立 隼也
図書部	大國 春香
保健部	高本 智行
体育部	井澤 麻美
	藤本 友亮
	黒木 志帆
	桑田 崇貴
	中田 恵里
	南 温貴
	牧野 瞳
	藤原 良太
	田部 あゆみ



福壽 校長

生徒会のスローガン
生徒の 生徒による 生徒のための 学校づくり

播磨北小学校

ふれあいを通して
こころ豊かに生きる力
を育む教育

「友達・家族・地域の人々とのつながりを大事に
オンラインワンの自分を表現」

本校では、豊かな心と健やかな体を培い、確かな学
力を身につけさせる教育を推進しています。

教育目標

◎人間性豊かな児童の育成

- 正しく 自ら考え創り出す子
- 強く 決まりを守る子
- 仲よく からだづくりに励む子
- 強く 自ら考え創り出す子
- 強く 決まりを守る子
- 仲よく からだづくりに励む子
- 強く 自主的・主体的に行動できる子
- 仲よく 思いやりのある子
- 強く 協力し、高め合う子
- 仲よく だれでも仲よくできる子



紅谷 校長

播磨西幼稚園

豊かな心と
たくましく生きる力の
基礎を育む

「人や自然との出会い、ふれあいを通して
感じる・考える・学ぶ」

本園では、豊かな自然と温かい雰囲気の中で、一人一人の幼児が安心して生活し、自分の良さを発揮しながら、物とのかかわりや、さまざまな人とのふれあいを通して、生きる力の基礎を育む教育をめざしています。

本園の教育目標

◎生き生きとかがやいてい
る子ども

めざす幼児像

○自分の思いや考えを心豊
かに表現する子ども
○健やかで、たくましく、
けじめのある子ども

今年度の取り組みとして

園内や地域の草花や生き物、雨や風などの自然との
直接体験を大切にし、優しさや豊かな感性、好奇心、
考える力や表現する力の基礎などを育む教育を進めて
います。

努力目標

- ◎豊かな自然体験ができる場の工夫
 - ◎共感、刺激し合う仲間づくり
 - ◎3歳から5歳までの発達段階に応じた指導の充実
- ◎家庭や地域との連携を推進
- 自然の楽しさや面白さを十分感じてほしいと願っています。
- <http://homepage3.nifty.com/nisiyouten/>



田尻 園長

蓮池小学校

子どもの心に響く
道徳教育の充実

「人との関わりを通して、
自己を見つめ、心豊かに生きる道徳教育の推進
家庭・地域および校種間の連携を通して」

本校では、平成16、17年と文部科学省および県の
「心に響く道徳教育の推進事業」の研究指定を受けるこ
とになりました。そこで、地域や保護者の皆さんとと
もに、「子どもたちの健やかな成長」を願った取組を推
進していくことを通して、地域の中で育つ子どもたち
に望ましい道徳的実践力を身につけていきたいと考えて
います。

教育目標

◎豊かな人間性を持った子ども
の育成

校訓

豊かな心 健やかな体
めざす児童像

○自ら考え表現する子
○心豊かな子
○たくましく子

本年度の実践目標

- ①家庭や地域社会との連携で、開かれた学校をめざす。
 - ②学校生活の全領域で道徳教育を推進する。
 - ③本物と出会うことで感動体験をする。
 - ④人と人をつなぐコミュニケーション能力を育成する。
 - ⑤幼稚園や中学校との連携を通じて、発達段階に応じた指導のあり方を探る。
- 「連携」をキーワードに多様な人とのかかわりの中
で体験的に学ぶ機会を作っていきますと考えています。



横田 校長

喜瀬川のさくらが満開!

播磨北小学校



「3年生で、さくらの絵をかきに、喜瀬川の近くに行きました。わたしは、ともだちとかがきました。さくらは、とてもきれいで、天気もよく楽しくかけました。そして、よその人に、『上手に描いているね』と言われました。うれしかったですよ」

「さくらの木がきれかった。とても気持ちよく描けたよ。とっても木が高かったよ。だから画用紙を2枚つなげて描いたよ。」



4月初めの総合的な学習の時間に、喜瀬川沿いの桜の写生に出かけました。満開の桜の美しさに感動し、その気持ちを自分の桜の絵に込めました。すてきな播磨町を知ることができました。これからの「わたしたちの町、みんなの町」の学習のすばらしいスタートになりました。

春の遠足

播磨西小学校



「私が好きなたんけんコースがありました。みんなちゃんと並んでいたから、やりやすかったですよ。また行きたいな」



5月11日(火)、待ちに待った遠足の日。4年生は、一人の欠席もなく全員そろって須磨離宮公園へ出かけました。前日までの雨に洗われた新緑がきれいでした。色鮮やかにバラも満開です。さっそく「子どもの森たんけんコース」のアスレチックに出発です。ロープを伝って登ったり、重い帆を上げたりします。ゆれる、すべる、ひっぱる。日ごろ経験の少ない動きに、体をいっぱい反応させて思いっきり遊びました。「アスレチックがすっごく楽しかった。3回行ってみたいです。28コース全部まわりました」

▲みんな順番に挑戦だ!

1年生と6年生は大の仲良し!

蓮池小学校



北公園では、おにごっこをしたり、おんぶしてもらったり、一緒に大好きな滑り台を滑ったり。とっても楽しい1日でした。

「6年生のお姉ちゃんと遊んできてもいいの?」 休み時間になるとパスポートをにぎりしめた1年生の大きな声が響きます。このパスポートは、4月に行われた「1年生を迎える会」で、6年生から送られたものです。いつでも遊びたい時に遊んでくれるという、すてきなプレゼント。このパスポートで、1年生と6年生はすっかり仲良しになりました。そして五月晴れの5月7日(金)、ペアのお兄さんお姉さんと手をつないで、野添北公園まで春の遠足に行きました。であい公園横の喜瀬川の飛び石では、手を引いてもらって、ちょっと怖かった飛び石もピョンと飛び越せました。

▲楽しい思い出がいっぱいできたよ!

春の自然を 満喫した潮干狩り

播磨小学校



▲こんなに取れたよ

4月30日(金)、3年生79人が、初めて潮干狩りに行きました。最初波打ちぎわで、こわごわと貝を探していた子どもたちも、時間が経つにつれて、一人、二人と海の中へ入って行きました。「貝が取れた!!」「また取れた」と、あちろちろから子どもたちの歓喜の声が上がりました。貝を取ることに夢中になり、時間の経つのも忘れて、子どもたちは潮干狩りを楽しんでいました。持ち帰った貝を、吸い物や酒蒸しやバター焼き、あさりのみそ汁、あさりのスパゲティなど、いろいろな調理し、子どもたちは春の自然を満喫し、十分に味わうことができたようです。

修学旅行 ー東京都内班別行動ー

播磨南中学校



▲ジャッキー・チェンにも会いました

5月21日(金)の朝、曇り空の下、3年生は東京に向けて学校を出発しました。東京に着くと、晴れ間も見え、1日目の都内班別行動が始まりました。生徒たちは、東京駅から散り散りに目的地を目指して出発しました。この班別行動では、各班が旅行前に目的地までのルートや交通手段、指定されたチェックポイントをいつ通過するかなど、綿密に計画を立て、実行しました。見学場所としては、テレビ局、西洋美術館、国立博物館、明治神宮、原宿、渋谷などがありました。この活動で、東京の文化に触れ、どの班も都内で有意義な時間を過ごすことができました。また、道に迷った班は親切に道案内をもらうなど、出会った人々とのふれあいも多くあったようです。とにかく、この都内班別行動を通して、貴重な体験ができました。

あしたは、遠足!

播磨南小学校



▲おいしかったお弁当。水遊びもしたよ

あしたは、遠足だー。(3年生の言葉) 「あしたは遠足、ルンルン」「よし、遠足の用意しよう!!」「ティッシュとか入れないと」「やっぱり、楽しみー」「自分で電車乗ったことないもん」「だいじょうぶかな?」「ときどき、わくわくするなあ」

4月30日(金)、春の遠足。お天気に恵まれ、1年生と6年生は共に浜田公園へ、2年生は魚住の住吉神社、3年生は魚住の中尾親水公園、4年生は姫路城、5年生は須磨浦公園に行きました。そして、お弁当を食べ、楽しいひとときを過ごしました。3年生は各自乗車券を買って、グループで山電車まで行かなければなりません。そのために、自動券売機の拡大写真を使って予習しました。

交流を深めた1カ月

播磨南高等学校



▲ようこそ、南高校へ!

4月14日(水)に、ニュージラランドにあるタカブナ・グラマースクール生が、兵庫県に訪問し、本校生の家にもホームステイしました。(タカブナ・グラマースクールとは、ニュージラランドのオークランド市内、タカブナ地区にある公立学校です) として学校では、歓迎会が行われました。来日の目的は、日本語の勉強だけでなく、日本の歴史や文化、日常生活に触れるためです。歓迎会後は、本校の書道と英会話の授業と一緒に受け、楽しいひとときを過ごしました。また、新1年生280名は、4月28日(水)から5月1日(土)に、嬉野台生涯教育センターへ、入校時学習訓練合宿に行き、そこでは高校生としてのあり方や、学習の仕方を勉強し、またクラスごとに校歌合戦をするなどして、団結力を高めました。

生活指針標語

播磨中学校



生徒会が「校内生活指針標語」を募集したところ、310点を超える、素晴らしい標語が出品されました。この生活指針標語を考えることで、生徒全員が自らを振り返り、きまりを守って楽しい学校生活を送れるのではないかと、思いから募集しました。生徒会役員が選んだ作品を紹介します。

最優秀賞



川田 紘子
なにげなく さし出すその手の 温かさ

優秀賞



村越 元氣
廊下では 走らずあせらず 歩きましょう



安部 あやな
傷ついた 気持ちも安らぐ 友の声



大地 千尋
光ってる キミの優しさ すぐきたね



山口 朕明
思いやり いつも心の ポケットに

私は、かけた足こそ長いのですが、真剣に尺八という楽器に取り組み始めてから、約5年。3年半前には都山流尺八の准師範として名取となり、「古河伴尚」という竹号で播磨町の公民館や加古川、高砂のホールで尺八を演奏するのを楽しみにしています。日々稽古に励まないといけないのですが、仕事の都合などもあり、なかなか思うように稽古ができないのも事実であります。

近年、学校の音楽の授業に和楽器を組み込むことになったようで、やっと邦楽に光があたるようになってきたような感じがします。邦楽の歴史をひも解くと、西洋のクラシック音楽の作

曲家ハッハヤビバルディーが活躍する以前に、「六段の調べ」などの箏曲は作曲されているわけで、そんな歴史の深さを知り、改めて尺八という、日本独特の楽器に出会えたこと、またその楽器を演奏できることを誇りに思っているのであります。

では、尺八とはどんな楽器かというと、長さ1尺8寸(約54センチ)の竹でできた管状の物で、5つの穴を指で閉じたり開けたり、またその穴を半分だけ開けたり、穴に指をかざしたりして、音程や音色を変えて演奏します。同じような音の出し方をする楽器としてはフルートがあるのですが、フルートがもっとも完成された楽器と言われていること

からすると、尺八はもともと原始的な楽器です。それゆえに、表現力も無限にあり、風光明媚な日本の風景や気候に最も溶け込む楽器が尺八だと思います。

独奏曲の題目には「木枯」「峰の月」などの気候や風景、「鶴の巢籠り」などの動物の鳴き声を描写したものも多く、たった5つの穴で表現する奥深さと表現力の豊かさは、洋楽器には無い味わいがあり日本人の持つ説ひ寂びなどを表現するのに向ってつけたと感じます。

そんな尺八道に精進し、またこの奥深い楽器を共に演奏する仲間を募集しています。あなたと一緒にいかがですか？

尺八演奏者として

あなたに はつたつち

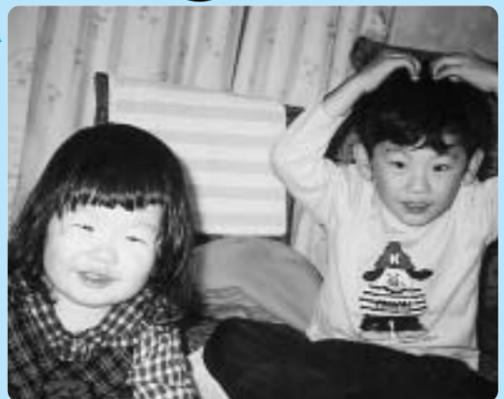
リレーエッセー⑦



古河 尚彦さん (野添)

趣味 オートバイ、囲碁勉強中

わんぱくはりまっ子



三浦 夏菜ちゃん(2さい) 和哉くん(5さい) 北本荘 いっぱい遊ぼうネ。(お父さん・お母さんより)



このコーナーに出ていただく「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(3歳~5歳対象) 広報担当まで電話を。またスナップ写真を送ってもらってもけっこうです。

一言の重みと子どもの「やる気」

教育委員会教育推進室 木下 康雄

とほめられたうれしかったテストで百点とったのもうれしかったでも、おかあさんにほめられた方がよっぽどうれしかった

どうですか。子どもの素直な気持ちとともに子育てに対するヒントがあると思うのです。

子育て真っ最中の皆さん、減点主義より加点主義の子育てで、またマイナス思考よりプラス思考で子どものやる気を育てていきましょう。親が感性をときずまして、爪の先ほどの小さな成長に気付きたいものです。いずれにしても親のささやかな言動が、「やる気」を起こさせるか、失わせるかの分岐点です。

こいのぼりと子どもたち キューピット保育園



▲こんなに上手に作れたよ

「やねよりたかいこいのぼり」と春の木漏れ日が差し込む5月、キューピット保育園では子どもたちの歌声や笑い声が賑やかに響いています。

大空に舞うこいのぼり。自慢の体を風になびかせて、悠々と泳ぐこいのぼりを見て、子どもたちは「きれいなね」「でっかいね」と喜々としています。美しいこいのぼりに負けじと各クラスでは、自分だけのこいのぼりをと、心を込めて製作が始まりました。「ペタン、ペタン」手形や足形のスタンプ、赤や青、緑と絵の具や折り紙を組み合わせ、さまざまな模様を自由に表現し、力作こいのぼりの誕生です。

個性豊かな自分のこいのぼりを持ち帰る日、「見て見てお母さん!!」と、どの子も嬉しそうに見せながら帰る姿は、とてもほほえましく、きつとペラペラで元気に泳いでいるように見えます。

ひよこ教室が始まったよ!



▲仲良く遊べたね

今年も5月12日(水)から、入園前見対象のひよこ教室が始まりました。子どもたちは、ひよこちゃんが来る前から友達と「ひよこちゃんが来たなら一緒に遊んだらうー!」「やさしくしたらな泣くで!」と、互いに接し方を確認し合っていました。ひよこちゃんたちがお母さんと一緒に砂場にやって来ると、「砂の海に入ってもいいよ」「スコップどうぞ」とやさしく声をかけていました。

また巧技台の所に来たひよこちゃんが、慣れない足取りで巧技台に登ろうとすると、すかさず「だいたいようぶ?」「手つないだるわ!」と走り寄って手をつないだり、声をかけたりしました。するとひよこちゃんもにっこり。無事最後まで渡り終えると、ひよこちゃんにおじぎのお礼をされ、「また遊ぼうな!」と、互いに笑顔で次の遊びに向かいました。

カエルさんと仲良しだよ



▲カエルさんがかわいいね

▲どこにいるかなあ

「カエルさん見つけたよ!」「どこにおるん?」「はつぱの上やで」「捕まえよう!」と、幼稚園のアシサイまで大急ぎで走って行くこい組さん。

葉っぱの上で、じーっとしているアマガエルを発見。捕まえようとすると、ピヨーンとジャンプしたり、壁にぺたぺたくっついたりする様子に大喜び!

「カエルさん、雨やから喜んで」「ゲロゲロって歌ってるよ!」カエルさんと仲良しになりました。

「玉ネギ どうぞ! 食べてね!!」

播磨幼稚園

幼稚園の仲良し畑でたくさん玉ネギが獲れました。「みんな持って来たよ!」「はい! どうぞ!」「食べてね!」と、いつもお世話になっている学園北自治会の方々に、玉ネギをおすそわけしました。

「ありがと。立派な玉ネギだね!」「この玉ネギで、おいしいお料理作るわね」などと声をかけていただき、子どもたちにも笑顔がいっぱい!!

次の日、「あっ! 昨日のおじちゃんや!」「僕たちも一緒にしよう」と、ヒラドツツジの剪定のお手伝い。とっても気持ちのいい幼稚園前になりました。

今度は、一緒に遊ぼうね!!



▲ありがとうございます! おいしいお料理作るわね!!

▼玉ネギを届けているところ



▲よいしょ! よいしょ!